



# 明るい篠崎

第45号 令和7年9月30日 青少年育成篠崎地区委員会発行

■ 発行 ■  
青少年育成篠崎地区委員会  
総務部  
■ 事務局 ■  
江戸川区生活振興部  
東部事務所地域サービス係  
江戸川区東瑞江1-17-1  
電話 03(3679)1124



# 青少年育成篠崎地区委員会

副委員長  
須藤  
一  
郎

新顧問あいさつ

顧問 柴田清一

## 令和7年度 年間活動

A black and white portrait of a man with short, dark hair, wearing a white collared shirt and a patterned tie. The photo is set within an oval frame.

A portrait of a man with dark hair, wearing a grey shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a plain, light color.

仲秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は五月の総会で、昨年度より体調を崩されておりました田村憲司委員長の代理を仰せつかりました。

今年度の活動を充実させ、衆々と進める

ためには、篠崎地区の町長・自治会長をはじめ各種関係諸機関、学校関係者の皆様のお力添えが不可欠でございます。微力ながら、力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

七月に青少年育成地区委員会合同研修会に参加した折に、各委員会の

取り組みや課題など、様々なお話を聴くことができました。これらを参考

に篠崎地区の研修会や子どもたちの活動に反映させていきたいと考えております。

ご支援・ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

これからも、地区委員会の活動が、篠崎地区の子どもたちが共に過ごし・遊び・学んだ友との思い出作りになり、いずれ大人になつたときには地域の一員としてこれらの取り組みを伝承し活躍してくれることを願っています。

地域の皆様のご支援とご協力をお願い申上げます。

今年の夏は猛暑日が続き体調を崩した方もいらしたと聞いておりますが、やつと朝夕に秋の気配を感じられる頃となりました。

このたび、並里順郎顧問よりバトンを引き継ぎました。どうぞよろしくお願ひいたします。

総会  
5月15日（木）  
第22回東部地区安全・安心  
まちづくり大会

第45回小学生ドッジボール大会	9月4日(木)
明るい篠崎 第45号 発行	9月28日(日)
第49回東部地域祭	9月30日(火)
第43回氷上フェスティバル	11月9日(日)
新年顔合わせ会	12月
講演会	1月16日(金)
研修旅行	2月3日(火)
明るい篠崎 第46号 発行	3月
3月31日(火)	

## 卓 球 大 会



梅雨明けが待たれる七月十三日、第五十四回卓球大会が篠崎第一中学で開催されました。

体育館の中はエアコンが効いており、大会には最適なコンディションでしたが、

あつという間に出席する選手や応援する先生方・保護者の方々の熱気に包まれてしまいました。

参加した子どもたちは、仲間とのチームワークを学び、楽しい思い出ができました

事業部長 竹内正夫

大会に向けて子どもたちをご指導してくださいました関係者の皆様、早朝より準備に携わってくださいました地域の皆様、また、審判をしてくださいました保護者の皆様、スムーズに会を運営することができました。ありがとうございました。

これからも、篠崎地区委員会事業部としては、地域の皆様の声に耳を傾け、子どもたちの心と身体の健全な育成のためには何が必要なのかを考え安全・安心な活動を続けてまいります。



## 第43回江戸川区民ラジオ体操大会



五月十五日に総会が開催されました。すべての議案が賛成多数をもって承認されました。

篠崎地区では安全・安心まちづくりの一斉活動、スポーツを通して子ども達の健全育成を目的とした卓球・ドッジボール大会を開催しています。今年度

から広報誌「明るい篠崎」を年二回に変更し発行していきます。皆様の協力をお願い致します。

夏の清々しい早朝、第四十三回江戸川区民ラジオ体操が瑞江第三中学校のグラウンドで開催されました。江戸川区

皆様ならびに東部地区の町会・自治会長、小中学校PTA会長、各協力団体代表者の皆様に多数お越しいただきました。また、ご提供された記念品や協賛品が、参加者全員に配布されました。

早朝にも関わらず地域の大人から子どもまで幅広い世代が多く参加して、元気よく体操している姿がとても印象的でした。

最後にこの開催には地域の皆様のコミュニケーションの活性化が期待できるので来年以降も継続してほしいです。

事業部 事業部長 竹内正夫

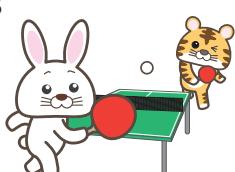


優勝チーム

△小学生女子の部△  
さくらぎ子ども会

△小学生男子の部△  
ひまわり子ども会B

△中学生・育成者の部△  
チームNKG



# 安全・安心まちづくり

第二十二回東部地区安全・安心まちづくり大会が五月十七日に開催されました。式典の開始宣言をもって一斉活動を行いました。私たち一人ひとりの防犯意識を高め、自分たちの町は自分たちで守るをモットーに被害を減らし、より快適で住みやすい町づくりを推進していきます。

式典当日は一斉

パトロールと同時に、地元三校の中学生七十数名が参加し、自転車盗難ゼロ作戦を開催する予定でした。あいにくの雨のため中止となりましたが、犯罪防止の地域の意欲が感じられました。

自転車盗難の五割が鍵をしていない状態で盗まれています。盗難防止には必ず施錠するようになります。

これからも東部地域と警察、消防、協力団体がワンチームとなり一致団結して犯罪を防ぐ町づくりの運動をしてまいりますので、ご協力を願います。

## 「自分たちの町は、自分たちで守る」



七月二十三日グリーンパレスにて開催されましたが、昨年までの講演会とは異なり「これから地区委員会の活動を充実させるためにできることを考える」をテーマとした合同研修会でした。

初めに東京都推進モデル事例の発表と

して、「下小岩地区」「下小岩たんけん隊」の模様をスライドを通して活動内容を紹介の後、「地区委員会の行事や研修に

関すること」「会の運営や広報に関するここと」「二つのサブテーマから各グループに分かれ地区での活動・問題点等を話し

合い、お互いに参考にしたり解決

策等をアドバイスしたり、また受けながらの情報交換会を行いました。

他の地区委員会を知り自分の地域

にできる事はないかを考える機会となりました。

会計 須藤正子



## 合同研修会

## 連絡調整会

残暑厳しき九月四日、土木部施設管理課交通安全推進係の方を講師に「子どもの交通安全を守るためにできること」をテーマに、ビデオを通して話し合いが行われました。

毎年、自転車同士や車と自転車による事故は後を絶ちませんが、令和五年四月には「命を守るためにヘルメットの着用」が、年齢に関わらず努力義務化されました。当初はヘルメット

を着用している人たちを目にしていますが二年が過ぎた現在、暑さも影響しているのか、特定の職業の方しかヘルメットを着用していないように思います。

子どもを交通事故の被害者にも加害者にもさせないためには、交通ルールやマナーを守る・自分の身体にあつた自転車に乗る・点検をする・ヘルメットを着用する等々、身近な大人がいつも手本を示し駄目なことは駄目としっかりと教えることが大切です。

是非、自分の地域や関連小学校の方々に本日の内容を広めていただきたいと思います。

連絡調整副部長 相川美智子

## 篠崎小学校

校長 平林千恵

ありがとうございます。

篠崎の街は緑や公園が多く、

空も広くてとても豊かな気持ちになります。

素晴らしい地域の学校に着任でき嬉しいです。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

四月に篠崎小学校校長に着任いたしました、平林千恵(ひらばやしゆきえ)と申します。大田区生まれ、育ちです。教員としての出発も大田区、続いて港区、渋谷区には二十二年勤め、初めて江戸川区に着任いたしました。土地勘も知り合いもなく、大変心細かったのですが、篠崎小学校の子どもたちや教職員、保護者や地域の方々の温かさに心を支えられ、とても



### 南篠崎小学校

校長 園田和子



## 新任校長 あいさつ



## 篠崎中学校

校長 紅林兼一

篠崎中学校では、令和六年四月から学校に行きたくても何らかの理由で登校できない生徒に対して、安心して学校生活が送れるように「チャレンジクラス」を開設しました。

今年度は、優れた技能や才能、学校や地域をよりよくしようとしている生徒に対して、例えば地域のゴミ拾いや行事のお手伝い、学校内の自主的な活動など、その生徒の努力や成果を認める「達人ちゃん表彰」を実施しています。

是非、地域の皆様も本校の生徒の達人ぶりを見ましたらご推薦してください。

## 篠崎第二中学校

校長 蓮沼祥之

## 学校の紹介



ままで取り組む生徒の育成に努めています。将来の夢をもち、人の役に立つ人になってくれることを期待し、教育活動を行っています。

来年度は開校五十周年を迎えることになります。地域の皆様にまたお世話になることも増えてまいりますが、引き続きご協力・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

いつも大変お世話になつております。地域の皆様に支えられ、本校生徒たちは着実な成長を見せていました。今年度は「あきらめない心をもつて未来を拓く」をキーワードに、何事にも全力で最後

お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、誠にありがとうございました。総務部編集委員会、皆様のご協力のおかげで明るい篠崎第四十五号を発行することができました。

### 編集後記